第 2570 地区第 3 グループ
所沢東ロータリークラブ

週　報

世界に希望を生み出そう

2023 年 7 月～2024 年 6 月 会長 齋藤 正史 幹事 井川 和豊

例会日 毎週木曜日(12:30-13:30)
例会場 ベルヴィ ザ･グラン 所沢市星の宮 1-3-5 TEL04-2923-4122
事務局 所沢市星の宮 1-4-17 TEL04-2928-6363 fax04-2928-6369
Email info@te-rc.com HP http://www.te-rc.com/

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるか どうか

第 1585 例会
2023 年 11 月 9 日

1. 点鐘(会長)
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング斉唱
4. 四つのテスト
5. 来賓紹介（副会長）
6. 会長挨拶
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. ロータリーの友紹介
10. 委員会報告
11. 記念祝福
12. スマイルボックス
13. クラブ協議会

「次年度役員選出」

会員卓話「ロータリーの祖米山梅吉(三井住友信託銀行初代社長)の偉業と、彼が愛した執務室」大山　貴士会員

出席報告(総数 50 人)

11/9	人	%
10/26	50 人	100%

本日の記念祝福(11 月) 9

《会員誕生》

上園俊樹　梅沢雅利
野藤修三　中島洋志
奥野　浩　秋場孝三郎
伊藤道明　見澤直保
大河原秀雄

■■■クラブ年度テーマ■■■
新たなるスタート！

【会長挨拶】 10 月 19 日

ロータリー財団の寄付について、主なものには年次基金寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付があります。

年次基金は、ロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源です。寄付の 50%が 3 年後に DDF（地区財団活動資金）に残り、50%は WF（国際財団活動資金）になり、地区の活動やロータリー財団の活動に活用されます。

恒久基金は、未来において持続可能なプロジェクトを実施するために必要な財源になります。恒久基金は投資され、元金は支出されることはなく、収益のみが活用されます。利用可能な収益の 50%が DDF に、残りの 50%が WF になります。

使途指定寄付は、あらかじめ使い道を決めて寄付するものです。ポリオプラス、ロータリー平和センター指定寄付、グローバル補助金冠名指定寄付などです。

わがクラブは、一人当たり年次基金に 50 ドル、恒久基金に 30 ドル、使途指定基金に 30 ドルを毎年寄付しています。

寄付者に感謝を伝える方法として、ロータリー財団では表彰や認証の機会を設けています。ロータリー財団寄付認証を受けたクラブは、認証品としてバナーや感謝状が贈られます。

「Every Rotarian, Every Year」クラブというのがあります。これは一年度中に正会員全員が年次基金に少なくとも 25 ドルの寄付をして、一人当たりの年次基金平均寄付額が 100 ドルに達しているクラブに送られます。2570 地区では行田さくら、日高、入間、川越中央、熊谷、生越毛呂、坂戸、坂戸さつき、所沢東、寄居ロータリーの 10 クラブに送られています。

個人に対する認証では、ポールハリス・フェローがあります。これは年次基金、ポリオプラス、承認された財団補助金のいずれかに 1000 ドル以上寄付した方に送られます。また、さらに追加で 1000 ドルを寄付するごとに「マルチブル・ポールハリス・フェロー」として認証されます。わがクラブでは個人寄付として承諾した会員のみが毎年 100 ドル寄付しているので、ロータリーに入会して 10 年経つとポールハリス・フェローとして認証されています。年度事業計画書に載っていますので見てください。

■畑クラブ報告

10 月 22 日、畑の野菜が大きく成長してきました。育ってきた芽の間引きを行いました。

ガバナー補佐訪問　　例会 1583 回　10 月 19 日
第 3 グループガバナー補佐 齋藤 栄作様(入間 RC)

ただいま紹介していただきました、入間ロータリークラブ所属の齋藤栄作です。入間市に本社をおく丸大観光（株）の社長を 1999 年から務めており、私で３代目です。埼玉、東京、神奈川でスクールバスをはじめ 201 台を展開。地元でハイヤー・タクシー 44 車両の車を持っており、毎朝 245 車両を見送っています。1923 年に祖父が事業を創め（9 月 15 日「貨物運送事業」県知事認可)、お蔭様で本年創立 100 年を迎えます。企業として 100 周年という節目を迎えたことを機に、ビックサークルグループホールディングスとしてのホールディングス化を進め、丸大観光はその一部として組織されています。青年会議所・ロータリークラブで社会貢献というものを叩き込まれたことが現在の私の礎になっています。

第３グループは、11 クラブ 380 名いますが、本日の所沢東クラブさんで最後の訪問になります。実際に伺うと、それぞれの個性を感じ取ることができます。今日も約束時間の１０分前に来たのですが、会場入り口で会長・幹事さんが外で出迎えて頂き、駐車場の誘導までしていただきました。お迎え頂くことは、来る人間にとっては大変ありがたいことであります。その様な事がしっかりとお話しさせてもらう気持ちになります。迎えるということは素晴らしいことですので、私もそのような機会がありましたらしっかりとお迎えしなくてはいけないと思いました。

今年の RI（国際ロータリー）のテーマは″CREATE HOPE in the WORLD″。つまり「世界に希望を生み出そう」というものです。ロータリーはアメリカ発祥のものですので、テーマやスローガンには英語表記を使って頂くことが望まれています。これに合わせて、地区のスローガンも“希望を語ろう ― We are Rotary, together ―”となっています。これは「みんなで一緒にロータリー活動をしていこうよ！」という想いが込められています。

今年度の高丹ガバナーは、アメリカパナソニックの社長を 16 年間されていた方です。実家は深谷にありますが、現在は東京に住んでおられ、いつも一人で車を運転して地区に来られます。このようなわけで地区スローガンにも英語表記、合わせて日本語表記もされているということです。一般的に、テーマは RI の会長だけが使用することができるため、地区ではテーマとは言わずにスローガンと呼ばれます。

今年のテーマが「世界に希望を生み出そう」となっているのは、希望という概念が特に強調されているからです。皆さんにとって希望とは何か、その意味を考える機会として、今年のテーマは非常に重要な意味を持っています。

現在、ロータリーの最終目標は、世界平和とされていますが、具体的には、ポリオワクチンによるポリオ撲滅とも密接な関係があります。野生株のポリオウイルスの 100％撲滅を目指しているのですが、戦争や紛争の影響下にある地域では、不衛生な状態が続いており、野生のポリオウイルスが撲滅されずに残ってしまいます。そのため、ロータリーは世界平和を実現することが非常に重要だと考えています。現在、ロシアによるウクライナへの侵攻が続いており、世界平和というテーマが特に注目されています。このような状況の中で、希望という言葉が強調されているのは理解できます。

ロータリー活動をする上で、各クラブでクリアしていただかないといけないことが一点だけあります。ＤＥＩについてですが、「手続要覧」の中で今年度 2023 年から最も重要な言葉、基本理念とされることが決定しています。急な話だったので、皆さんには今日のメインテーマとして少しでも理解していただければと思っています。

DEI とは、Diversity（多様性）Equity(公平性) Inclusion(包括性・一体感）の頭文字をとったもので、特に企業においては、DI は組織強化の為に作られたものであります。D（多様性）は、例えば所沢東クラブ 50 名を一つの組織とした場合、一人一人の会員を、多様性（性別や国籍等）を持って受け入れていきましょうということ。I（包括性）は、そこにい

る全ての人が尊重され大切にされていると感じられる環境。自分のアイデンティティを隠さず、ありのままでいられる環境を築くことです。みんなが一人一人の思い考えを、許容してくれるような組織形態を作れるのがロータリーであります。それがインクルージョンの概念であります。

Ｅ（公平性）は、全てにおいて公平に扱われていると感じるルールがそこにあることです。「分配的公正」、会社に貢献した結果、それに見合う報酬や権限、評価を得られ、その処遇に納得した時に感じるもの。一方で、違うことは違うと明確に言ってあげることが公正さに繋がる。これを「手続き的公正」と呼びます。その分配を決める意思決定のプロセスに納得出来れば公正だと思える。それが大事な「公平性」です。この様に、Diversity（多様性）Equity(公平性) Inclusion(包括性）の概念が今年度から「手続要覧」の基本理念として記載されるようになりましたことをご理解 頂きたいと思います。

ＩＭについて、ＩＭはＲＩ会長がガバナーに裁量を委ねるものとなっており、ガバナーがやらないと言えばやらないのですが、今年度、髙丹ガバナーは全てのグループでＩＭをやってくれと言われました。そしてＩＭは主催者がガバナー補佐、ガバナーは来賓という扱いになります。

第３グループ 11 クラブは、ヘリテイジ飯能にて、2024 年 2 月 21 日(水)に開催します。ガバナーから「懇親会は大事だよ」と言われましたので、懇親会も開催します。私が入間ＪＣ第 20 代理事長の時、「わんぱく相撲」を縁あって創めることになりましたが、入間市は 25 年経った今、「相撲のまち入間」であります。当時、共にＪＣに入っていた明大中野の相撲部出身の西澤会員から「人生を懸けて子ども達を指導するから、齋藤さん、わんぱく相撲創ってよ」と言われたのです。幕内に北勝富士大輝、大栄翔勇人、阿炎政虎（洸助）、幕下に栃武蔵陽太、塚原隆明、栃神山龍一、三段目に小林嵐。入間の相撲クラブ出身の子ども達７人が現在角界で活躍中です。「相撲を通した街づくり」をテーマに開催したいと思います。当日大変お世話になると思いますが、よろしくお願い致します。

最後になりますが、ポリオワクチンを開発したジョナスソーク博士の「希望は夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、想像力、そして、勇気の中にある」という言葉を伝えたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

ガバナー公式訪問	例会 1584 回　10 月 24 日
2570 地区ガバナー　髙丹 秀篤　様(深谷ＲＣ)	

本日は、所沢５クラブの皆さんとこうした機会を持てたこと大変にうれしく思います。

さて、今年一月にアメリカ・フロリダ州で行われた国際協議会に参加し、140 万会員を擁す RI 組織の凄さに驚きました。まさに世界に存在するあらゆる人種の人々が、国際ロータリーの旗の下、一堂に会して年度方針を確認する機会に恵まれたことに感激しました。

ゴードン・マッキナリーRI 会長は、まず継続することの重要性を訴えました。継続しつつ、変化もしていかねばならないこと、そして時には脱皮しながら変革もしていかなければならないことも強く訴えました。先人のアイデアや努力で今日があることに感謝しつつ、常に変化・変革を恐れずに前に進むことが大切であると強調しました。

組織をより柔軟に、しかも成長させるためには、多様性のある、公正な、しかも開放的で自由な組織でなければなりません。ＤＥＩの概念は、これから将来に向けて最重要なコンセプトです。つまり、差別のない、だれかれと隔てのない、平等な・フラットな組織である必要があります。しかもその組織は開放的で、自由な、開かれた居心地の良い場所でな

ければなりません。それが 2022 年規定審議会で「ロータリーの基本理念」と決議されたＤＥＩです。

ゴードン・マッキナリーRI 会長の今年度のテーマは「CREATE HOPE in the World」です。いま世界を取り巻く環境はストレスの多い、かつ人々がお互いに傷つけあい各地で戦争が起こっています。このような時こそ、メンタルヘルスに気を配らなければいけません。他人に支援の手を差し伸べることで自分自身のストレスが軽減され、「希望を生み出すこと」に繋がるのだと思います。

さらに、常に女児こそが被害の矢面にさらされている現実を直視するたびに、あの子たちの無事の成長を願わざるを得ません。女児のエンパワメントプログラムは RI の継続したプログラムです。私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人々が手を取り合って行動するのがロータリーです。ロータリーはより平和で、より希望の持てる世界を築く手助けができます。

私たち 2570 地区も「希望を語ろう」「ロータリーをもっと学ぼう」と地区スローガンを掲げました。そのために「学ぶ場」を提供し、ロータリーに触れ、ロータリーを感じ、ロータリーを好きになることで、私たち自身の成長を心掛けたいものです。

本日は多くの皆さんにご参加いただきありがとうございました。

■ガバナー公式訪問　クラブ協議会

会員組織委員会　委員長　上田　福三

所沢東ＲＣといえば「友情の握手」と言われるほど、我がクラブ活性化の源泉です。欠席後の例会や、しばらく会話していない先輩・後輩、または昨夜一杯飲んで熱く口論したメンバーとも「友情の握手」で、一気に雰囲気が和んでいきます。

所沢東ＲＣは、創立時 51 名の会員でスタート、最高 63 名の後、37 名まで減少したこともありましたが、近年は優秀な若手会員の入会で新たな活気を呼び込んでいます。

コロナで例会が中止になり、ロータリー活動がピンチの時、有志でゴルフクラブ「ピンボケ会」が発足しました。以来毎月４～６組で３年続いております。実は明日も、飯能クラブで「ピンボケ会」コンペが開催されます。

また今年度からは、友好クラブである韓国安養坪村ロータリークラブ訪問に向けて、「韓国語教室」が新しく始まりました。そして、農業体験「畑クラブ」が発足したりと、活動が広がっています。今年度は 50 名の会員でスタートとなりましたが、まずは創立時の 51 名を早期に実現し、この２年で女性会員が入会しましたので、さらなる女性会員の増加も目指したいと思います。

所沢東ＲＣは、若手からベテランまで、分け隔てなく活躍しており、コロナ禍では、ベテラン会員発案の会員有志グループＬＩＮＥ(ライン)を開設しました。今ではＬＩＮＥ(ライン)が大活躍で、例会の案内から会員個人の近況報告まで、活発に情報の共有化に貢献しています。昨日も、畑クラブの活動が写真付きで共有されていました。ところで、事務局入れて 51 名のはずが、なぜか登録メンバーが 53 名になっているのは謎です(笑)。

所沢東ＲＣは「友情の握手」を活動の源泉として、若手・中堅・ベテランと「分け隔てなく」「風通しの良い」クラブを今後も継続していくべく、会員一丸となってロータリー活動に励んでまいります。ありがとうございました。

◆記念祝福　・結婚記念

◆記念祝福　・入会記念

◆ニコニコボックス　第 1583 回例会 10 月 19 日

齋藤　正史　ガバナー補佐　齋藤栄作様に書類の点検等を行っていただきました。のちほど卓話をよろしくお願い致します。

井川　和豊　齋藤栄作ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。先日、三木さんのお知り合いの、新井敬子プロにラウンドレッスンを受けて、スイングが改善されたおかげで、チーピンのくせが治り、飛距離も２０ヤード伸びました。クラブコンペでは、ドラコンは渡しませんよ、ふふふ。

荒幡　雅一　齋藤栄作ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。先週より半年ぶりに労働を始めました。

北村　隆幸　本日早退します。ニコニコします。

野本　俊光　齋藤栄作ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。

本日合計 32,000 円　累計額 243,000 円

例会日	当 番	プ ロ グ ラ ム
11/9 木	森安	クラブ協議会「次年度役員選出」
11/16 木	安里	卓話「災害ボランティアセンターについて」所沢市社会福祉協議会 古川 弘子・森　将人　様
11/23 木		休会
11/30 木	柳内	卓話「我が信条行雲流水」 日本将棋連盟　及川 拓馬 様
12/7 木	青木	クラブ協議会
12/14 木	秋場	演奏卓話「フルートデュオ」 鈴木真紀子＆忍田結梨　様
12/21 木	親睦	家族親睦クリスマス例会
12/28 木		休会

ガバナー公式訪問　　例会 1584 回　10 月 24 日　ベルヴィ ザ･グラン